

日本遺産 (Japan Heritage)

日本遺産とは文化庁が2015(平成27)年度に新設した制度で、地域の歴史的な魅力や特色を通じて各地域の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定するものです。

右は、菊池川流域日本遺産独自のロゴマークです。

菊池川流域

平成29年度認定

米作り、二千年にわたる大地の記憶

～菊池川流域「今昔「水稲」物語」～

たまなし やまがし きくちし なごままち

玉名市・山鹿市・菊池市・和水町

熊本県北部の菊池川流域には、二千年にわたる米作りの記憶が大地に残っています。菊池深谷を源とするミネラル豊富な清らかな水は、米作りの発展を促しました。平地には「糸里制」が敷かれ、大和朝廷により築かれた古代山城「鞠智城」は、米倉を持つ軍事拠点として栄え、また、山間にも用水路(井手)が整備され棚田を造り高地での米作りを可能にしました。そして、海辺には広大な干潟に堤防を築き、耕作地を生み出しました。更に、土地利用の広がりや遊獵、芸能、豊かな食文化から酒造りという、様々な文化的景観に出会える菊池川流域は、まさに古代から現代へ続く米作り文化の縮図といえます。

旧玉名千拓施設

国史文 玉名市

高瀬船着場跡

市史跡 玉名市

八千代座

市史跡 山鹿市

江戸時代初期の熊本藩主、加藤清正によって本格的に始められた数々の千拓の遺構が残る。そのうち明治中期築造の米広間、明治開、明治開、大豊間の総延長5.2kmにわたる大規模な千拓堤防などが、国指定の重要文化財となっている。

江戸時代に米の積み出しで栄えた港町の高瀬。懐かしと呼ばれる石畳の斜面や石段、石垣など当時の船着場の施設が残る。

明治43年、米問屋などの巨商家によって建てられた芝居小屋。現在も歌舞伎公演のほか、市民コンサート開催など地域の文化拠点となっている。

番所地区の棚田

山鹿市

山鹿市北東部の筑肥山地南側に位置する急峻な斜面を切り開いて造られた棚田。秋にはあざに彼岸花が咲き誇り、美しい景色に彩りを添える。

菊池深谷

菊池市

菊池川の源流をなす菊池深谷は、阿蘇の伏流水が多くのミネラル分を含み、下流に肥沃な養分を選び、米をはじめ様々な農産物に豊かな恵みをもたらしている。

鞠智跡

山鹿市

花の香道

和水町

古代の軍事補給基地として築かれた山城。発掘調査により、大量の炭化米、米倉跡が確認されている。また、当地には最で日没した太閤を呼び戻して田植えを終えさせた「米原(よなばら)原者伝説」が残る。

明治35年創業の造り酒屋。和水町のおいしい米と水を使って酒造りが行われている。

江田船山古墳石棺 米作りを財力源の一つとして築造された古墳。出土品のほとんどが国史に指定され、中には海外との交流を示すものもある。ヤマト政権下で力を持った豪族の墓と考えられる。

国史跡 和水町



わおマップ

西日本版

おでかけ前にまずコチラ。目的地の情報満載!

観光 歴史 自然 宿泊

グルメ レジャー カフェ イベント

英公社株式会社 株式会社ワウマップ

https://wowmap.jp

熊本県北

エリア

43 熊本県

熊本市北区(楠木町)・荒尾市・菊池市・合志市・玉名市・山鹿市・大津町・菊陽町・玉東町・長洲町・和水町・南関町

日本遺産

米作り、二千年にわたる大地の記憶

～菊池川流域「今昔「水稲」物語」～

たまなし やまがし きくちし なごままち

玉名市・山鹿市・菊池市・和水町

日本遺産 八千代座内観

山鹿市

日本遺産 高瀬船着場跡

玉名市

日本遺産 江田船山古墳石棺

和水町

日本遺産 菊池深谷

菊池市

菊池川流域日本遺産

米作り、二千年にわたる大地の記憶

～菊池川流域「今昔「水稲」物語」～

たまなし やまがし きくちし なごままち

玉名市・山鹿市・菊池市・和水町

菊池川流域日本遺産協議会 事務局:玉名市教育委員会教育文化課 TEL:0968-75-1136

【金栗四三翁住家・資料館】

玉名市上小田には、金栗翁が後半生を過ごした住家があり、内部を文庫や緑樹から見学できます。また、障子部屋として建てられた離れを改装した資料館では、ここで見られない金栗翁の写真や遺品を展示しています。

玉名市企画経営課 〒865-8501 熊本県玉名市岩崎163 TEL:0968-57-7548

菊池川流域の風景

熊本県北の

菊池川流域は、

玉名市、山鹿市、菊池市、和水町の4市が連携して、

三加和温泉、山鹿温泉、玉名温泉、菊池温泉、

熊本県、菊池市、

多岐な観光地があります。